

2008年12月13日HESDフォーラム、立教大学

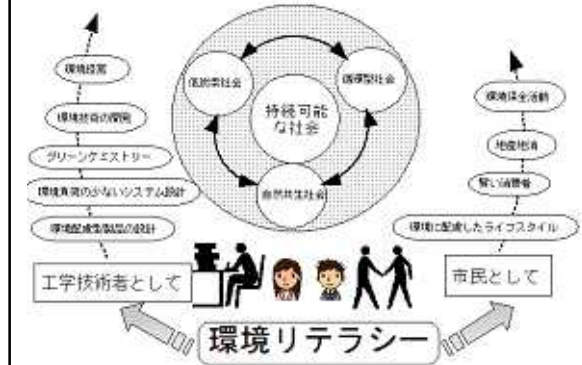
## 富山県立大学における環境リテラシー教育の取り組み



富山県立大学工学部・短期大学部

こすPU

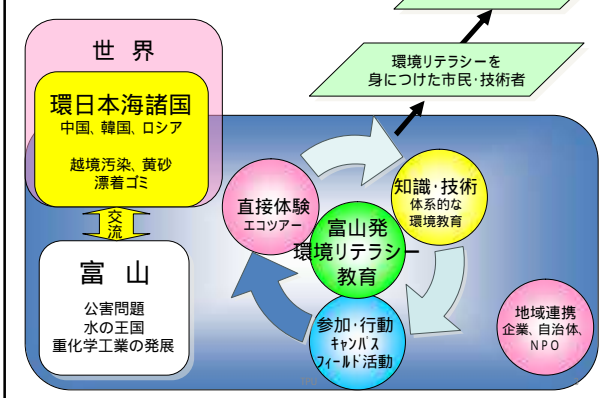
1



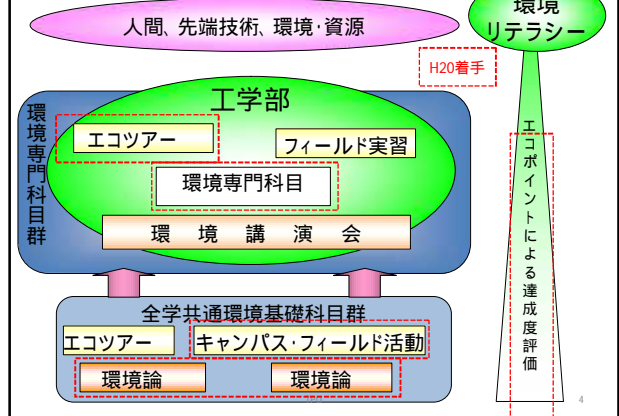
TPU

2

## 新たな環境教育への取組



## 環境教育プログラムの全体像



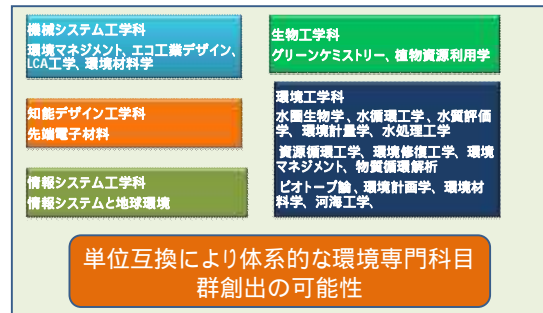
4

## 環境教育の基礎となる講義 「環境論」「環境論」

- 目的: 技術者志望の学生たちの内面に「持続する環境感覚」をはぐくむ
- 教養科目の**必須科目**(各2単位) 卒業単位を130単位
- **環境論** : イントロダクション、公害、自然との共生、大気・水環境、環日本海学、地圏、生物環境、生物環境、リサイクル、化学物質のリスク
- **環境論** : イタイイタイ病、歴史的環境対策、資源エネルギー、環境マネジメント、近代の遺産とその活用、今後の取り組み

5

## 高学年次における専門科目群



2008年度エコツアー

1日 時：平成20年9月29日(月) 7:45-18:30  
 2場 所：立山黒部アルペンルート(室堂・弥陀ヶ原)  
 3参加人数：238名  
 機械システム工学科48/55名 知能デザイン工学科38/56名 情報システム工学科29/52名  
 生物工学科41/47名 短大環境システム工学科39/40名  
 その他(引率教員・事務局員)30名 ナチュラリスト11名 学芸員2名

4研修内容  
 <弥陀ヶ原>  
 (1)立山の環境についての講義(立山荘)  
 講師：富山市科学博物館 主幹学芸員 太田道人氏・朴木英治氏  
 富山県立大学短期大学部 渡辺 幸一 准教授  
 (2)弥陀ヶ原散策：カルデラ展望台コース、ガキの田コースの2コース




<室堂>  
 (1)立山の自然について(旧自然保護センター)  
 講義「立山の自然について」講師：富山県自然解説員 渋谷茂氏  
 (2)室堂散策  
 室堂のみくりが池周辺を散策、自然保護センター見学。



## 参加・行動型環境教育としての キャンパスフィールド活動



- 課外活動として環境問題に対して学生が自ら参加・行動することを目的として、学内外での自主的環境活動(環境保全、環境評価・計測など)を展開



ひまわりプロジェクト

生物季節観測プロジェクト  
 実験物産源に絡む体験プロジェクト  
 G02 バスターズプロジェクト  
 キャンパス大気環境観測プロジェクト  
 キャンパス水質浄化プロジェクト  
 水田和彰 ビオトープ化プロジェクト  
 実験池水質浄化プロジェクト  
 キャンパス敷地環境改善プロジェクト

11月19日(水) 1年次ゼミ 校外フィールド活動  
 “鮭のことを学び味わう”


- 10時30分 短大部正面に集合
- 行き先; 庄川サケ築場(高岡市石瀬)
- サケの遡上見学
- サケ鍋
- チャンチャン焼き
- サケのつかみ取り体験(各自、200円持参)

## 環境講演会

- 最新の環境問題、環境経営など、社会経済も含めた環境について学ぶ

富山県立大学・信楽演義夜会ライブラリー

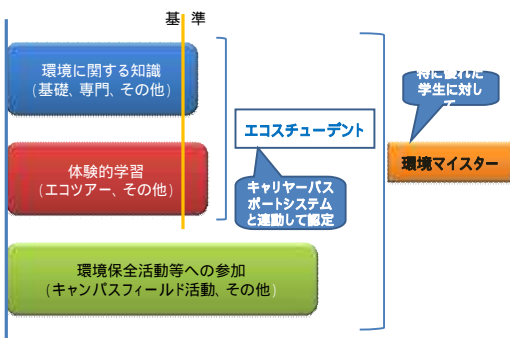
「待たなしの地球温暖化、IPCC第4次報告書はこうして作られた」  
 2007年12月7日



ビデオライブラリー

TPU 10

## エコポイント制度と資格認定の要件



基準

- 環境に関する知識(基礎、専門、その他)
- 体験的学習(エコツアー、その他)
- 環境保全活動等への参加(キャンパスフィールド活動、その他)

エコチューデント

キャリアパスポートシステムと連動して認定

特に優れた学生に対し  
環境マイスター

## 今後の課題

- 工学部における「環境教育」という新たなチャレンジャー **エキスパートは不在**
- 単発的な取り組みを以下に持続的に継続するか: 環境GP事業と教養ゼミ、トピックゼミ、専門ゼミ、各科との **協働作業**
- 事業企画への **学生参加**
- 学内外との協力(生協、企業、NPOなど)
- 2009年度以降の **全面展開** に向けた体制整備
- 教育効果の検証

TPU 12